

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和08年06月15日(月)

事務事業		行旅病人・死亡人対応及び法外援護事業			担当課	福祉政策課	担当係	福祉政策係	管理番号	24151
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち			事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	3	地域で支え合って生活できるまちづくり			根拠法令 個別計画等	行旅病人及行旅死亡人取扱法、深谷市法外援護実施要綱、深谷市外国人未払医療費対策事業補助金交付要綱			
	小項目	1	地域福祉の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		生活に困窮する市民等に対し、特定の法令に該当しない場合や緊急に援護を必要とする場合に、必要な援助を行うものである。								
目的 ※何のために		生活に困窮しているが法令で対応できない方を救済する。								
対象 ※誰・何を対象に		市内において生活に困窮している方のうち、法令で対応できない方。								
手段 ※どのように		出産・医療・移動に対する援護を原則として現物給付で行う。（医療費の支払い、近隣市の駅へ旅客運賃分切符の発行等）								
成果 ※何を求めるか		法令で対応できない方の福祉の増進が図れる。								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	法外援護事業	931,570
本事業の 主な業務		・ 法令で対応できない生活困窮者への援助							・	
		・ 市有墓地の管理							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

※令和7年度は決算見込み額です。

単位：円

区分			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画			困窮者への医療、移動等の援護、市有墓地の管理	困窮者への医療、移動等の援護、市有墓地の管理	困窮者への医療、移動等の援護、市有墓地の管理	困窮者への医療、移動等の援護、市有墓地の管理	困窮者への医療、移動等の援護、市有墓地の管理	
事業費	予算（現額）		1,024,000	617,000	1,095,000	957,000	951,000	
	決算額		595,210	10,638	1,090,916	931,570	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	175,840	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	686,965	720,687	0	
		一般財源	419,370	10,638	403,951	210,883	951,000	
人件費	従事職員数（人）	0.22	0.52	0.49	0.54	0.44		
	人件費相当試算※	1,731,303	4,165,286	4,028,899	4,577,631	3,875,735		
総事業費試算			2,326,513	4,175,924	5,119,815	5,509,201	4,826,735	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	援護を行った件数（切符の交付）	目標値	件						
		実績値		8.00	3.00	9.00	6.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		援助件数の大小は行政の努力で左右されるものでないことから、目標値は設定しない。 / 切符を交付した件数						
	実績値の算出式								
活動指標 2	行旅死亡人対応件数	目標値	件						
		実績値		1.00	0.00	2.00	0.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		件数の大小は行政の努力で左右されるものでないことから、目標値は設定しない。 / 実対応件数						
	実績値の算出式								
成果指標 1	要援護者対応率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		100.00	100.00	100.00	100.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		援助が必要な方に必要な援護を完全に行うことを目標とするため100%とした。 / 対応した件数/判断した件数						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	移動援護（切符を交付）については、令和7年度は6件であった。行旅死亡人対応件数については、令和6年度の2件に対し令和7年度は0件であった。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	援護を要する方に対し、必要な援護を行うことができた。
			評価者 福祉政策係長 蓮沼 仁志

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	市内において、生活に困窮し緊急に援護を必要とする方に対し、近隣市の駅へ旅客運賃分の切符を発行するなど、迅速に対応することができた。
			評価者 福祉政策係長 蓮沼 仁志